

トビウオの赤ちゃん獲れる

多摩川河口羽田第一水門船溜まりでトビウオの赤ちゃんが獲れました。

24年8月27日朝、本協会の貝桁網調査の折に船溜まりに浮いているトビウオ(全長約5cm)の稚魚を見つけました。

東京都島しょ農林水産センターの研究員に写真を見て貰ったところ「ホソアオトビの稚魚ではないか」とのことでした。

ホソアオトビは太平洋西部の温暖な海域に生息し、沖合の表層を群れで泳ぐ、全長25cmになる中型のトビウオです。伊豆諸島では夏トビに混じって獲れますが、東京内湾では珍しく、東京湾の奥まで南風に流れ藻とともに流され、運ばれて来たものと思われます。

島しょセンターによると「運河でトビウオ類を見たとか、シイラやマツダイ、アミモンガラが採集されたという情報が入っており、7月下旬から8月上旬にかけて、黒潮からの暖水が東京湾に流入して、南方種が湾内に入ってきているようだ。」とのことでした。

